

RE² KANAZAWA

Renovation Relationship Kanazawa

RE2 KANAZAWA は

北陸におけるリノベーション分野の推進を目的に、大学がプラットフォームとなり地元建築関連企業が横断的に集い、考え、アクションを起こす場を生み出したいという想いから発足しました。業界の枠を超え、現状での問題発見やニーズの検証などを有識者や講師を交えて行っていく事で新たなビジネスチャンスが見えてくるはずです。

地元北陸（金沢）の、設計者、ゼネコン、施工者、不動産業者、ハウスメーカー、建材設備メーカー、オーナー、大学（学生含む）など幅広い分野の方々の参加を求めています。

RE2 Kanazawa は「フォーラム」と「リノベーションケーススタディー」から構成されています。

フォーラムは、リノベーションに関心を有する方々への導入プログラムであり、

リノベーションケーススタディーは実際の課題やニーズに取り組む実践の場となります。

またリノベーションケーススタディーによる成果が出ることにより、フォーラムは成果を共有する場へと変化していきます。これらの連携サイクルを回すことにより、お互いの学びの場からビジネス創出の場へと転換を図っていく事を目指します。

第一回 OPEN FORUM

2013年5月14日（火）15:00～17:30

第一部 記念講演

「地方都市でリノベーションが生み出す価値」

講師 大島芳彦 ブルースタジオ

第二部

パネルディスカッション

「それぞれの立場から見たリノベーション」

定員：150名 先着順

入場料：無料

フォーラム終了後懇親会を行います。



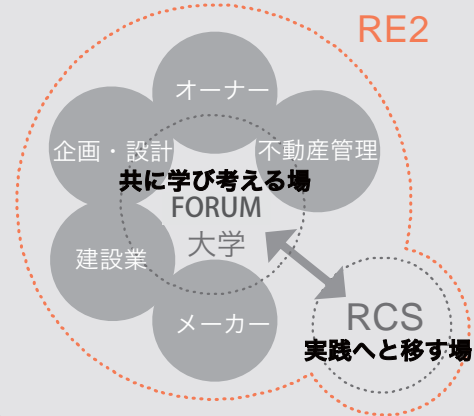
FORUM

年5回開催されます。国内の有識者を講師として招き、先進事例や様々な情報提供が行われます。また地元企業の新しい取り組みを取り上げ、問題点や対処策などを講師を交えて意見交換する場もあります。さらにはリノベーションケーススタディーの成果発表も合わせて行われます。

Renovation Case Study

複数の参加者が課題やニーズと捉えた内容をテーマとして取り上げ、そのテーマに対して設計者、建設業者、不動産業者、オーナー等が集まり小さなチームを作り、提案をケーススタディーとして練り上げていきます。企画段階からそれぞれの立場での意見を交わし、業種間の有機的な繋がりが生み出しながら解決に向けた新しいアクションを提案していくのがリノベーションケーススタディーです。もちろん提案に止まらず、実践につなげていく事で効果の検証も行えます。ケーススタディーの数が増え、取組成果をフォーラムにフィードバックすることで、業界全体の活性化を図ることが可能となります。

北陸のリノベーションにおける 新たなプラットフォーム



年間スケジュール

● 第1回フォーラム 5月14日(火) 15:00～17:30

- ・「地方都市においてリノベーションがもたらす価値」 講師：大島芳彦（ブルースタジオ）
- ・ 発足記念会

● 第2回フォーラム 7月23日(火) 15:00～17:30

- ・「地方におけるリノベーション市場の動向とその今後」
- ・ RCS 成果報告、懇親会

● 第3回フォーラム 9月12日(木) 15:00～17:30

- ・「不動産業の現状とリノベーションの関係」
- ・ RCS 成果報告、懇親会

● 第4回フォーラム 12月5日(木) 15:00～17:30

- ・「リノベーションによるまちづくり」
- ・ 懇親会

● 第5回フォーラム 1月(予定)

- ・「リノベーションの実践報告と今後の展望」
- ・ RCS 成果報告、懇親会

「RE₂ KANAZAWA」 申込書

会費：全5回 ￥20,000 ※第1回フォーラム：無料（オープン講座）

お申し込みをいただいた方に、後日、請求書を送付させていただきます。

●参加者氏名

●会社名

●ご住所 〒

●部署名

●TEL.

●FAX.

●E-mail

【個人情報の取り扱いについて】

本フォーラムにお申し込みの際にお伺いする個人情報は、金沢工業大学で実施する事業で利用します。（参加者名簿の作成、各種セミナー、フォーラム開催に関する連絡及び情報提供等）
また、お客様の同意がある場合及び行政機関から法令等に基づく要請があった場合を除き、当該個人情報の第三者への提供または開示をいたしません。ご提供いただいた個人情報を正確に処理するように努めます。



【お問い合わせ先・お申し込み先】 金沢工業大学 産学連携推進部 連携推進室

●Tel.：076-294-6740

●Fax：076-294-6715

●E-mail：isp@kanazawa-it.ac.jp